

気仙沼みなと祭りの観光客を増やすことはできるのか

312班 千葉凌我 高橋朋花 米倉果林 村上結佳 千葉陸斗

背景

- 港祭りをきっかけに気仙沼の魅力を知ってもらい、観光客のリピーターを増やしたい。→活性化、魅力ある都市へ

論題への班の答え

- ターゲットを明確にすれば可能
ターゲット＝若者

気仙沼みなと祭り



- 打ちばやし大競演
大小様々な大きさの太鼓で気仙沼の海を表現



- はまらいんや踊り
各団体が趣向を凝らしたオリジナルの踊りを披露



- 海上うんずら
海上ねぶたを思わせる壮大な船の上での太鼓演奏



- 海上打ち上げ花火
約2400発の花火が打ち上げられる

港祭りの課題

- ①観光客が少ない
 - ②昼間にイベントなどが無い
 - ③地元の人しか楽しんでいない
- ②、③が解消できれば①の解消につながる

- 観光客込入数 1)

地区	平成23年
気仙沼	292,012
栗原	770,292

②について

- 「若者は水のレジャーが好きだから」
→海を生かした水上アスレチックを内湾へ
大会型にし、仮装部門やカップル競争部門などを設ける



2)

- 「若者はフェスが好きだから」
→大島にて音楽フェスを開催
大島架橋建設により、アクセス良好化
テント泊により宿泊問題もクリア

フェス イメージ図 3)



③について

- 「若者はとにかく盛り上がりたい」
→はまらいんやを参加型へ
はまらいんや踊りはほぼ地元の人しか参加しておらず、観光客は観ることだけしかできません。そのことから観光客の方も参加できるようにすると楽しんでもらえると僕たちは考えました。
- もっと盛り上がるためには...
衣装のレンタルや年代別に当日参加団体をつくり、出会いの場を増やす



2016みなとまつり

まとめ

現在、気仙沼の少子高齢化、人口減少は深刻化しています。この問題を打破するためには、昔からの伝統のものや地元の人だけでやる祭りではなく、今の時代のものを取り入れた『新しい伝統』を創っていくことが気仙沼が進化する一歩であると、この研究をして僕たちは思いました。

参考文献

- 1)宮城県商工観光部観光課 観光統計概要
- 2)<http://www.ieyenews.com/wordpress/inews-briefs-community-events-10/inews-b-reduit-beach-rodney-bay/>
- 3)<http://www.officiallyjd.com>

研究協力

- ・気仙沼市役所
観光課
- ・東北工業大学
猿渡学教授